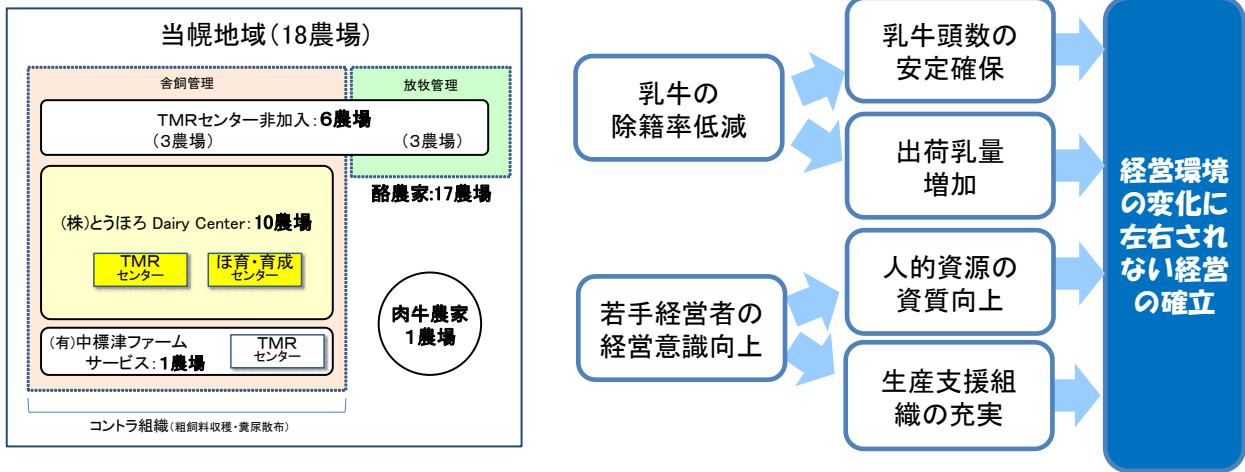


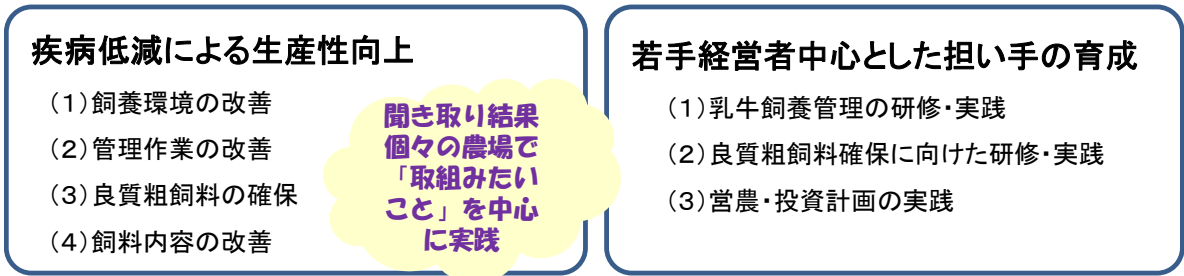
# 健康な牛づくりで健全な酪農経営

(中標津町当幌)

## 1 課題の背景




## 2 活動の経過



## 3 活動の成果

具体的推進事項	目標事項	目標	実績	到達度
疾病低減による生産性向上	個別目標達成農家戸数	14戸	3戸	21%
若手経営者を中心とした担い手の育成	乳牛飼養管理の改善	7人	10人	143%

(1) 各農場における「取組みたいこと」は徐々に実現され、疾病低減に寄与し始めている。

内容	効果・農業者の感想
<p>乾乳牛舎へのファン設置による暑熱対策(A農場)</p> 	<p><b>除籍率</b> 30.5% (H27年) ⇒ 15.0% (H30年)</p> <p>・乾乳期の乾物摂取量が昨年の同じ時期に比べて7ポイント増加した。 ・「これは来年の夏にも期待したい！」</p>
<p>FS通路の溝切りによる肢蹄病予防(B農場)</p>  	<p><b>除籍率</b> 37.3% (H27年) ⇒ 24.0% (H30年)</p> <p>・股裂きによる廃用頭数が減少している。 ・凍結する冬期間でも効果が出ており、牛の歩き方にも変化が見られる。 ・「以前より牛が滑らなくなった。他の部分も実施したい。」</p>

(2) 各種研修会や経営者同士の情報交換の場を積極的に作ったことにより、若手経営者の経営意欲が向上し、TDCの飼料内容の改善や各農場の生産性向上に結びついている。

**① TDC若手の自給飼料・乳牛飼養管理の研修がTDC全体の飼料内容改善へ**

**良質粗飼料確保の取組**

- ①新播草地の踏圧
- ②施肥改善(K低減)
- ③グラスサイレージへの土砂混入防止策の実施
- ④飼料用とうもろこしの栽植密度・除草剤の適正使用
- ⑤低アルカロイドリードカナリーグラスの播種・定着



新播草地の踏圧

**構成員による確認作業**

- ①サイレージ切断長の確認
- ②飼料用とうもろこし生育調査
- ③サイレージ発酵品質の確認
- ④リードカナリーグラスの生育確認
- ⑤サイレージ成分の確認



切断長の確認作業

**飼料設計メンバーによる週に1回の変更**

- ①乳牛の反応を設計メンバーで協議
- ②全ての作業を設計メンバーのみで実施  
(バンカー選定、設計、記録、周知)



飼料設計風景

新たな課題の掘り起こし、解決

**② 研修会での情報交換が飼養管理改善のきっかけに**

**放牧管理研修会**

- ①放牧実施農場の放牧地で放牧地管理の研修会  
(草類、施肥管理、糖度測定など)
- ②出席者の飼養管理について情報交換



**カルシウムの充足を意識(C農場)**

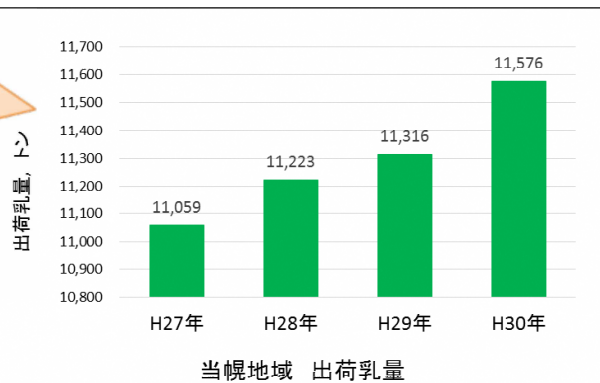
「低カルシウム血症は減少し、発生しても軽くなりようになった」

**放牧中の補助飼料給与期間の見直し(D農場)**

乳量を維持したまま、掃除刈りや補助飼料給与の手間が軽減。  
「今後は周産期や子牛の管理にも取り組みたい。」

地域の生産乳量も順調に増加  
**H27年対比で105%!**

地域内では投資・増頭の計画もあり  
若手経営者の活躍で  
さらなる生産増が期待されている。



**4 今後の活動\*\*\*\*\***

- (1) 各農場で疾病低減のために取組みたいことが成果に結びつくよう継続支援する
- (2) 各農場の取組成果を体系的に整理し、疾病低減のための事例をまとめる